

2021年11月11日

各位

H2株式会社

~国内初！健康アプリとCGMデータの連携が本格スタート~
糖尿病患者さんの自己管理や生活習慣の動向が
より可視化され治療への行動変容に期待

H2株式会社(本社:東京都台東区、社長:エド・デン)は、アボットのFreeStyleリブレと、当社が開発する健康アプリ・シンクヘルスとの連携が本格スタートしましたことをお知らせします。なお健康アプリとCGMデータの連携は国内では初めてのケースとなります。

【背景】

糖尿病において、食事などの生活習慣を自己管理することは重要ですが、日々の食事・運動・服薬などと血糖の変動をまとめて可視化して振り返る機会はありません、患者さんにとって難しいものとなっていました。

<FreeStyleリブレLinkとシンクヘルスアプリの連携イメージ>



【内容】

今回のデータ連携で、シンクヘルスアプリ内で食事・体重・血圧・運動などをCGMデータと一緒に閲覧できるようになるため、糖尿病患者さんにとって包括的な健康管理が可能になります。

その結果、糖尿病患者さんの間で、血糖コントロールの改善のために、食事内容や生活スタイルを適切なタイミングでどう調整するか理解が深まることが期待されます。あわせて、健康記録の結果と血糖の動きが包括的に把握できることで、患者さんの治療への行動変容が想定されます。

2021年には、スマートフォンでスキャンすることで糖尿病患者さんの日常の糖尿病管理に用いることができる、日本で初めてとなるスマートフォンアプリ、FreeStyleリブレLinkの提供が開始されました。現在FreeStyleリブレは、1型・2型等の病型を問わず、強化インスリン療法を行っている方、または強化インスリン療法を行った後に混合型インスリン製剤を1日2回以上使用している方が診療報酬の対象となっています。また、FreeStyleリブレを用いたその他のインスリン療法を施行中の方についても、月当たりの血糖自己測定(SMBG)回数を基に、診療報酬の対象となっています。

【今後の展望】

現在は日本において糖尿病患者さんにご利用いただいておりますが、将来的にはアジア各国に展開予定です。

【H2株式会社 社長:エド・デンよりコメント】

今回のアボット社との提携は、患者さんへCGMデータも閲覧・管理できることから、『包括的に糖尿病の自己管理が可能になる機会を提供する』という当社の使命を具現化できたものといえます。

私たちの使命は膨大な量の情報を簡素化し、その結果、患者さんに有益な洞察を提供することです。今回のCGMとの連携を皮切りに、より質の高い自己管理を希望するユーザー様のニーズに応えていきます。

【アボットジャパン合同会社 ダイアベティスケア事業部 ジェネラルマネージャー:キャロライン・ジョンソンよりコメント】

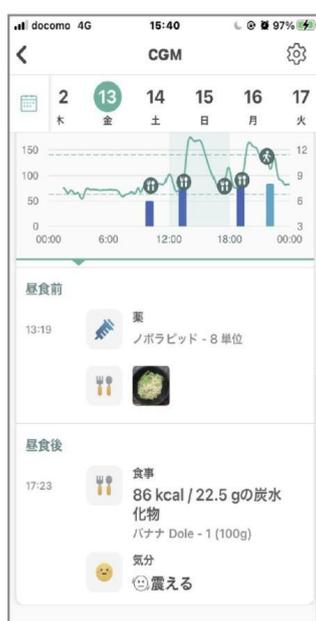
当社のCGMデータのシンクヘルスアプリへの連携によって実現された革新的なデジタルツールにより、糖尿病患者さんがより充実した生活を送れるようになればと思います。

特に、糖尿病患者さんが医療従事者や介護者と会いにくい状況である昨今、このような個別化された自己管理ソリューションの重要性を感じています。

<CGM機能連携画面>



指定期間の血糖トレンドや血糖分布を見やすく表示



血糖変動と生活記録を照らしあわせて閲覧できる



過去のグルコース値を解析し気づきのメッセージを提供

【シンクヘルスアプリについて】

シンクヘルスは血糖値・血圧・体重などの測定データや、食事・運動・薬などの日常生活を記録し、AI(人工知能)の分析により生活習慣の自己管理に役立つアプリで、国内では約20万人が利用しており、世界では70万人以上に利用されています。

【H2株式会社の会社概要】

住所: 〒110-0005 東京都台東区上野3-2-2 アイオス秋葉原604

URL: <https://www.health2sync.com/ja>

株主: SOMPOホールディングスなど

主要取引先: ノボ ノルディスク ファーマ株式会社、SOMPOひまわり生命株式会社など

H2株式会社は、2013年6月に台湾で創業し、日本法人として2018年2月に設立されました。一般ユーザー向け健康生活サポートアプリ(シンクヘルス)と、そのアプリにあるデータを診療に活用できる、医療従事者向けクラウドサービス(シンクヘルスプラットフォーム)を展開しています。



←シンクヘルスアプリのダウンロードは左記QRコードから可能です。